



特集

JMRA アニュアル・カンファレンス 2024

11月28日(木)ベルサール渋谷ファーストにて無料開催！

TOPICS

●第2特集:消費者庁「No.1 実態調査報告書」が不当表示を断罪
合理的根拠に基づかない「No.1」/「高評価%」表示の規制強化へ

Vol.85

2024/11/19 配信

2024年11月1日から、自転車運転中のスマートフォン使用や酒気帯び運転に対する罰則が強化されました。

違反者には最大6か月の懲役または10万円以下の罰金が科されることとなり、交通安全への取り組みが一層厳格化しています。2024年上半期における自転車の「ながらスマホ」運転が絡む死亡・重症事故は、前年同期の2倍超の18件だったそうです。禁止事項は「自転車運転中にスマホで通話すること(ハンズフリー装置を併用する場合等を除く)」及び「自転車運転中にスマホ画面を注視すること」とされています。どれくらい見ていれば「注視」にあたるのか分かりづらいところですが、おおよそ3秒程度だそうです。

この法改正により、スマートフォン市場やモバイルアクセサリ業界における「ハンズフリー機器」への関心が高まるのではないのでしょうか。

<JMRA ウェブ・メルマガ委員会>

[メルマガ登録について詳しくはこちら](#)

特 集

JMRA Annual Conference 2024

Beyond “Marketing Research” 2024.11.28 **THU**
- 新産業の協働と創造へ - at Bellesalle Shibuya First 2F

JMRA アニュアル・カンファレンス 2024

11月28日(木)ベルサール渋谷ファーストにて無料開催！

いよいよ11月28日(木)に、JMRA アニュアル・カンファレンス 2024 が5年ぶりにリアル開催されます。

基調講演:日産自動車 執行役副社長 星野朝子 氏

注目企画:JMRA 三役による「業界未来像」座談会

スポンサー企業 12 社によるミニセッション

「AIとマーケティングの未来」(博報堂様ほか)

本年度は、情報交流会も含めて入場無料、会場はベルサール渋谷ファーストです。定員になり次第締め切りになりますので、お早めにお申し込みください。

今回のカンファレンスでは、2会場で同時にセッションが進行します。スポンサー企業12社によるミニセッションが開催されます。18:00からは情報交流会を開催。スポンサー提供の豪華な景品が当たるチャンスもあります。交流の機会としてぜひご活用くださいませ。

[詳しくはこちら](#)

第2特集

第1位

消費者庁「No.1 実態調査報告書」が不当表示を断罪
合理的根拠に基づかない「No.1」／「高評価%」表示の規制強化へ

No.1表示に関する実態調査報告書

消費者庁「No.1 実態調査報告書」が不当表示を断罪 合理的根拠に基づかない「No.1」／「高評価%」表示の 規制強化へ

2024年9月26日、消費者庁から「No.1表示に関する実態調査報告書」が公表されました。JMRAではこの調査の企画段階から全面的に協力し、ヒアリング対象企業の紹介や、消費者向けアンケート調査の設計等について助言してきました。今後の同庁の取り組み方針を受け、引き続き普及・啓発活動を支援するとともに、私たち自身の活動も強化して行きたいと考えています。今回の報告書では、従来の(いわゆる)イメージ調査によるNo.1表示に加えて、「医師の90%が推奨する」などの、やはり根拠に乏しい「高評価%表示」も断罪されることになりました。消費者を不当表示から守り、市場調査への信頼を維持するために、引き続き会員各社のご協力をお願いします。

[詳しくはこちら](#)

不定期連載

顧問弁護士が語る 課題を乗り越える法律知識

顧問弁護士が語る課題を乗り越える法律知識

JMRA 顧問弁護士の鈴木先生による、最近の話題についての法的根拠や市場調査における基本的な法律知識をコラム形式で不定期に連載します。

今回は「No.1 表示等についての景品表示法上の考え方」です。

[詳しくはこちら](#)

TOPICS

ESOMAR『Global Market Research 2024』レポートより

従来型調査市場の成熟化基調変わらず、
引き続きテック領域が牽引

従来型調査市場の成熟化基調変わらず、引き続きテック領域が牽引
ESOMAR『Global Market Research 2024』レポートより

ESOMAR の『GMR (Global Market Research) 2024』レポートによれば、2023 年の国際的なインターネット産業の市場規模は 1,424 億 US ドルと評価されました。2024 年末までには 1,500 億 US ドルを超えると推定されています。ただし、成長を牽引しているのは引き続き「リサーチソフトウェア (旧テクノロジー主導調査) 分野」で、従来型の「確立された市場調査領域」は実質横ばいとなっています。

なお、主要 3 セグメント間でも相互に重なり合う(越境する)部分があり、その境界線はますます曖昧なものになりつつあります。また、国際的な物価高騰に伴う金利上昇の影響により、M&A などに代表される当業界への投資(資本流入)は鈍化したと報告されています。

[詳しくはこちら](#)

TOPICS

開催報告

多様なマーケティング・リサーチの
新潮流に触れる 著者が語るシリーズ2024

第3回

10.3
(木)

開催報告: 著者が語るシリーズ 2024 第 3 回

「マンガでわかる 数式なしのデータ分析」

広報セミナー委員会が開催する『多様なマーケティング・リサーチの新潮流に触れる - 著者が語るシリーズ 2024 セミナー-』の最終回では、多くのリサーチャーが日々奮闘されているデータ分析について、その面白さと、上手くなるための考え方について、「マンガでわかる 数式なしのデータ分析」の著者、株式会社グロース X 執行役員 マーケティング部門責任者の松本健太郎先生に解説していただきました。

[詳しくはこちら](#)

JMRA マーケティングデータ・ストレージ ピックアップセクション

最近 JMRA マーケティングデータ・ストレージに掲載された会員社の自主調査から、ウェブ・メルマガ委員会が精選した自主調査をご紹介します。

今月の注目調査

●シニアの e スポーツに関する調査
(2024.10.10 (株)ネオマーケティング)

e スポーツは「スポーツ」としての認識はまだ進んでいないが、「脳の活性化や認知機能低下の予防」に魅力を感じている人が多いようです。

[詳しくはこちら
\(JMRAマーケティングデータ・ストレージ\)](#)

今月の注目調査

●「ハロウィン」予算 6,565 円で昨年の 1.2 倍
(2024.10.25 (株)インテージ)

新型コロナウイルス(以下、コロナ)5 類指定後 2 度目となる今年のハロウィンですが、予算が増えているようです。その要因の一番は物価高ですが、「やりたいこと、行きたい場所がある」の内容が全体的に昨年よりも増えています。

[詳しくはこちら
\(JMRAマーケティングデータ・ストレージ\)](#)

What's happened?

おすすめ記事をピックアップしてご紹介

広告・マーケティングの最新動向がわかるマーケター向け専門メディア「MarkeZine」から、おすすめ記事をピックアップしてご紹介いたします。



●ChatGPT search の何が革命的なのか？
これからの検索行動を読み解く

●「戦略ごっこ」を防ぐには？
テレビ CM で獲得した認知を LTV が高い顧客
の獲得につなげる方程式

詳しくはこちら
(外部サイト:MarkeZine)

詳しくはこちら
(外部サイト:MarkeZine)

教育講座・セミナー案内

限定
JMRA 会員

「マーケティング・リサーチ産業 個人情報保護ガイドライン」
改訂説明会

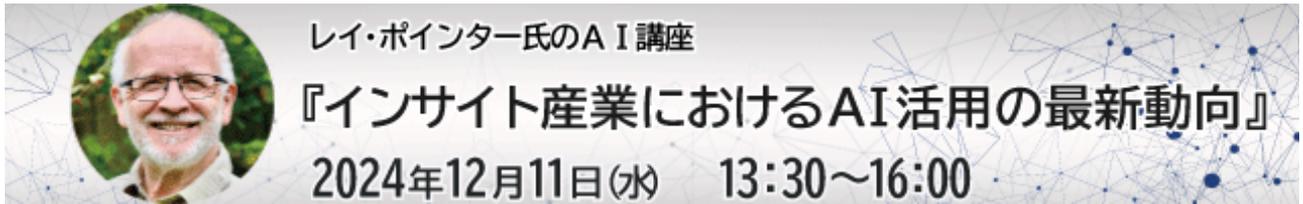
2024年11月25日(月) 13:30～15:30

東京会場

●【JMRA 会員限定】「マーケティング・リサーチ産業 個人情報保護ガイドライン」改訂説明会
今回の説明会は、2023 年 9 月の「JIS Q 15001 個人情報保護マネジメントシステム- 要求事項」の改正に伴い改訂した「JIS Q 15001:2023 準拠 マーケティング・リサーチ産業 個人情報保護ガイドライン」の発行に際して、新旧 JIS の変更点や新 JIS の新たな要求事項など、個人情報保護管理において会員各社が留意すべき点について、JMRA 顧問弁護士であるターナー法律事務所 鈴木理晶 弁護士より説明いただきます。

- ・日程:2024 年 11 月 25 日(月)13:30～15:30
- ・会場:ハイブリッド(JMRA 研修室、Zoom ウェビナー)

詳しくはこちら



●レイ・ポインター氏のAI講座 インサイト産業におけるAI活用の最新動向

ChatGPTをはじめとする生成AIの進化が続いています。世界のマーケティングリサーチ・インサイト産業界ではすでに実装が進み、有効活用に向けた検証段階に入っているとされています。

今年の5月に続き、当業界の国際組織であるESOMARの会長であり、AIタスクフォースを率いるレイ・ポインター氏が再来日される機会に合わせて、「リサーチャー向け」のAI活用セミナーを対面式(会場型)で開催することになりました。

本セミナーでは、この半年間で急速に実用化されたアプリやプログラムを用いて、定量・定性調査向けに活用する具体的事例をご紹介いただくとともに、注意を払う必要がある諸課題の解説をお願いしています。

・日程: 2024年12月11日(水) 13:30~16:00

・会場: JMRA 研修室(会場集合型対面形式)、英語によるセミナー(日本語解説付き)

[詳しくはこちら](#)

AI・イノベーションセミナー第6回

「Python in Excel」で変わるリサーチ実務(事前準備編)

12.12 木曜日 12:00~12:55 @zoom 佐藤哲也氏 (株)アンド・ディ



●AI・イノベーションセミナー第6回

「Python in Excel」活用によるリサーチ実務の生産性向上策

JMRA リサーチ・イノベーション委員会の本セミナーシリーズでは、過去5回にわたって生成AIを活用した会員社の取り組みをご紹介してきました。今回は少々趣向を変えて、現場の実務改善や生産性向上に活用できる可能性の高い、Excelの最新動向にフォーカスします。

ほとんどのリサーチャーが実務でExcelを利用していると思いますが、Pythonを取り入れることで(業務によっては)大幅な効率向上が期待できます。

今回はまだPythonを全く使っていない方にもわかりやすく、「できること、できないこと」「Python

in Excel が向く業務・向かない業務」について解説します。現場のリサーチャーだけでなく、管理者向けにもお勧めです。

・日程:2024年12月12日(木)12:00~12:55

・会場:オンライン(Zoomミーティングを使用)

詳しくはこちら
(外部サイト:peatix)



マーケティング・リサーチ エキスパートコース ~テスト・実験調査の設計と 2024年12月13日(金) 結果のデータ分析~

●マーケティング・リサーチ・エキスパートコース

~CLT・HUT(テスト・実験調査)の設計と結果のデータ分析~

本講座では、テスト・実験調査の様々な構成要素に関わる計画立案の方法を学習します。さらに、各種のテスト・実験の結果から得られた様々なデータの分析手法も学習します。

テスト・実験調査に関わるこれらの学習によって、目的に即したテスト・実験調査の妥当な計画立案が可能となるとともに、得られたデータから目的に即した信頼できる結果を検出することが可能になるでしょう。

このことは、テスト・実験調査を発注するクライアントの担当者には必須の知識であるとともに、受注する側の調査会社の方にとっても、クライアントと協力してよりよいテスト・実験調査計画立案の助言を行い、妥当な実施を行い、結果から有用な情報を検出・提供する手助けとなるでしょう。そのため、クライアント・調査会社双方のテスト・実験調査の計画・実施・分析担当者に、ぜひ受講することをお勧めします。

・日程:2024年12月13日(金)10:00~17:00

・会場:JMRA 研修室(会場集合型対面形式)

詳しくはこちら



定性調査 分析力を養う実践講座

2025年1月8日(水)・15日(水)・22日(水)・29日(水)

●定性調査 分析力を養う実践講座

定性データを整理・読み解いて、クライアントのアクションに繋がる情報に導く「定性調査の分析」を、体験を通して学びます。

事例を用いて、「自ら考える」+「しっかり議論する」を繰り返し、実践的に分析力を鍛えます。定性調査で得られたデータとの向き合い方、解釈の仕方などについて学びます。

講義と演習を組み合わせ、「分析」のプロセスを体験します。議論、発表、フィードバックの繰り返しで、新しい気づきを学びに繋がります。「解釈」の重要性にフォーカスし、「解釈する力」を鍛えることで「分析力」のアップを目指します。

リサーチャーには、とくに「解釈する力」が求められていますし、「解釈する力」をつければ、定性情報との接し方や関わり方も変わってきます。

本講座では、解釈を意識しながら演習を行うことで、課題に応える分析の考え方を学んでいきます。

・日程: 2025年1月8日(水)・15日(水)・22日(水)・29日(水)

各日 13:00~17:00

・会場: オンライン(Zoom ミーティングを使用)

[詳しくはこちら](#)



マーケティング・リサーチ エキスパートコース

多変量解析法の利活用講座

2025年1月20日(月)・27日(月)

●マーケティング・リサーチ エキスパートコース

多変量解析法の利活用講座 ~予測要因分析と構造分析の利活用~

本講座では、多変量解析の手法である「予測要因分析」と「構造分析」について学習します。

マーケティングの視点からは、検出された各要因(「独立変数」、「説明変数」)のどの要因が、どのように消費者の購買態度・行動(「目的変数」、「従属変数」)に影響を与えているのかが判明しますので、マーケティング戦略に大いに活用することができます。

また、消費者の態度・行動の背景にあり、その基となる複雑重層的な要因構造を探索・究明することは、製品・サービスのターゲット層を見出し、そのターゲットをどのようなコンセプト、どのような素材や効能(コンセプト付きプロダクト)で攻略するののかというマーケット戦略の構築に大いに役立つと考えられます。

そのため、クライアント・調査会社双方のマーケティング・リサーチ計画・分析担当者に是非受講することをお薦めします。また、コンピュータ上で解析モデルを運用する担当者にとっても、本講座は作業内容の理解と品質向上に役立つため、受講をお薦めします。

・日程:2025年1月20日(月)・27日(月) 各日 10:00~17:00

・会場:JMRA 研修室(会場集合型対面形式)

[詳しくはこちら](#)

お知らせ



●「HMIC カンファレンス 2024」が盛況のうちに終了

2024年10月22日(火)、ヘルスケア分野を中心とした「HMIC カンファレンス 2024」が開催され、JMRAをはじめとする後援団体の支援のもと、150名を超える業界関係者が参加し、無事に終了しました。

JMRA では今後も各主催団体と連携し、共同研究発表など、お互いのコンテンツをジョイントしていける場を拡張していく予定です。

CSI公開講演会 世論調査の未来 -歴史と課題-

●立教大学社会情報教育研究センター公開講演会のご案内

2024年11月28日(木)に、JMRA 副会長を務められました鈴木督久氏の公開講演会が実施されます。「世論調査の未来 -歴史と課題-」をテーマに、世論調査の歴史やその環境の他、これからの世論調査や選挙予測調査についての理解を深めることを目指します。

詳しくはこちら
(PDF:631KB)

●12月号は12月17日(火)発行予定です

- ◆このメールはメルマガをご登録された方に配信しています。
- ◆配信停止を希望される方は [こちら](#)よりお願いいたします。
- ◆このメールは送信用アドレスから配信しているため、ご返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。
- ◆プライバシーポリシーは [こちら](#)をご覧ください。
- ◆配信元: 一般社団法人日本マーケティング・リサーチ協会
〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 1-9-9 石川LKビル 2階
<https://www.jmra-net.or.jp/>
office@jmra-net.or.jp

あなたの中に未来がある。